

南小たば風通信 2019

令和元年12月3日 第25号(文責 佐藤)

今金町立今金小学校 公開研究会 参加レポート

佐藤です。令和元年も残り3週間、師走の時期がやってきました。心穏やかに夏休み明けからの子ども達の成長を子ども達に還元してあげられる時期になるといいですね。そして、お互いに体調にはくれぐれも気を付けて、忙しい中にも心のゆとりをもって生活を送っていきたいと思っています。

そして、、、

- ・職員—子ども達
- ・職員—保護者
- ・職員—職員

と、改めてそれぞれの関係や立場を尊重しながら、令和元年を終えたいと考えていた今日この頃です。



さて、今号では、11月19日(火)に参加してきた今金町立今金小学校の公開研究会の様子をご報告します。

今金小学校は、南小と同じく学校力向上の指定校でもあるので、どのような取り組みをしているのか、参考になる部分を1つでも多く見つけられたらという思いをもって参加してきました。

到着し、玄関先で私を見つけるなり、ニコニコ笑顔で出迎えてくれたのは、以前南小で勤務されていた事務の佐久間さん。お互いの近況報告をし終えたところで、佐久間さんから「ひろよし(佐久間さんの長男)には、5年生の公開授業に南小の先生が来ることは伝えてありますが、どの先生が来るかは秘密にしているんです。驚かしてあげてください。」

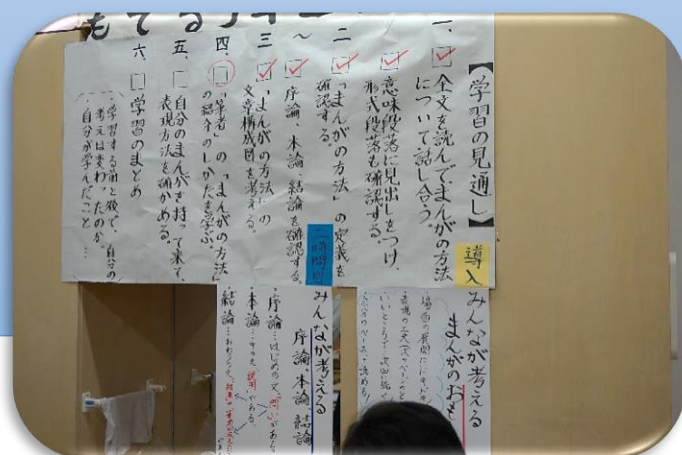
と、教えていただきました。1年生の時に彼の担任をしていた私は尚更楽しみになって教室に向かいました。

2. 公開授業

5年生の国語「まんがの方法」(読む)を参観しました。

【指導案の中身】

- ①単元名
- ②単元の目標・評価規準・
- ③単元設定の趣旨
- ④児童の実態
- ⑤研究主題との関わり
- ⑥単元計画
- ⑦本時案・板書計画・単元計画表



☆授業は、“読む”教材の「マンガの方法」でした。担任は初任2年目の先生。全体発表の場でも話が出ていましたが、2年目の先生が授業をするので、たくさんの職員が関わって授業づくりを進めてきたとのことでした。

☆今金小では全学年で導入に「言葉の木活動」を設定し、本時では「マンガの方法に載っている二字熟語あつめ」をしていました。指導では導入が7分と記載、実際には12分を要していました。

☆「マンガの方法」の本文中から、マンガの方法の提示方法「方法、効果、具体例」を理解することを目標とした授業でした。

☆グループでの話し合いでは、4つの課題を8つのグループに分かれて話し合いました。

(1・2班「人物の描き方」、3・4班「時間の進行」、5・6班「背景」、7・8班「ナレーター」)

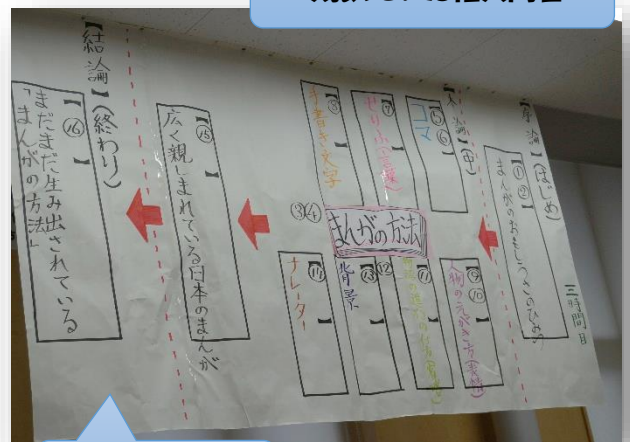
☆話し合い…グループごとに渡されたA3の用紙をラミネートしたものに、直接マーカーで線を引いたりメモをしたりしていました。⇒それを黒板に貼って交流。



頑張っていた佐久間君



最終的な板書



本文の構成表

3. 全体発表の中から…

- メンター制度…・授業力向上 ・教師力向上 ・テーマ別研修
- ・タスクマネジメント力向上（優先順位、軽重の付け方、文章の業務）

○全職員をメンティー、メンター（ミドル）、チーフ（ベテラン）に分類し、そこからメンバーを分担して4つのメンターチームを作っているそうです。

今金小学校メンター構図

学校長・教頭・濱先生				
	A	B	C	D
チーフ	山本	山本	山本	山本
メンター	山本	山本	山本	山本
メンティー	山本	山本	山本	山本

チーフ：各グループを統括するベテラン

メンター：中堅層・ミドル層中心

メンター：初任層

4. 講演

- 講師…北海道立教育研究所 研究・相談部 主査 大井結厘子氏
- 読む力を育てていくとすべての教科において“学びの自立”ができるようになっていく。
- 以前、よくあった指導案…“1時間目の初発の感想”は何のため？ 目的がなく、子ども達の課題解決の設定が不足している。
- ピクトグラムの紹介。
- 国立教育政策所Web ページから「読むこと」における言語活動実践例をダウンロードできる。